

## ハンズオンセッション (参加費無料・要申込み)

※ ハンズオンセッションは大会参加費不要ですが、参加希望者は事前にオーガナイザーに申込の上、必要なものについて問い合わせをしておいてください。

### ハンズオンセッション(1): SfM多視点ステレオ写真測量による簡単三次元モデリング

オーガナイザー: 内山 庄一郎(防災科学技術研究所)

申込先E-mail : uchiyamaあつとbosai.go.jp (あつとを@にして送信)

SfM多視点ステレオ写真測量(SfM-MVS: Structure from Motion and multi-viewstereo)とは複数の写真から被写体の三次元形状を復元する技術です。操作が容易なGUIを持つソフトウェアの登場により、誰でも自分の研究フィールドでこの技術を活用できるようになりました。ハンズオンでは、お手持ちのデジカメやスマートフォンで外の景色を撮影し、地上基準点を与えて立体地形モデルを出力するまでの一連の作業を行います。デジカメをUAVに乗せて調査地の詳細地形図を得たり、空中写真から過去のオルソ画像を作成したり、その応用は無限大です。高解像度地形データを自分で作ることができる時代の到来です。ぜひ、ご参加ください。

### ハンズオンセッション(2): GIS教育の効果的なカリキュラムについて ~Esri社 Joseph Kerskiを迎えて~

オーガナイザー: 土田 雅代

申込先E-mail : masayo\_tsuchidaあつとesrij.com (あつとを@にして送信)

急速に普及するクラウドやスマートフォンにより地理空間情報を扱う場面が大きく変わってきている。教育現場では、これらの傾向を積極的に促進するためにデータや解析ツール、スキル、IT知識等がより不可欠となってきている。ESRIジャパンでは、「主題図作成プロセス」としてこれまで有志によるさまざまな分野の専門家が集まり、議論してきた。その成果として、書籍を出版し、ワークショップを行ってきた。しかし、授業ですぐに利用できる教材を作成し、併せてPPT版も公開したが、実際の授業で利用されるようになるにはこれからである。(2015年7月現在)今年、米国Esri社 より教育機関マネージャー、かつGIS教材開発に多く携わっているJoseph Kerski氏(Ph.D.)を迎え、GIS教育において米国の最新事例の紹介、教育現場における「GIS教育の課題は何か」、「効果的にGISを教えるには」について参加者と議論し、GISを習得するための効果的なカリキュラムについて意見交換を行う。

### ハンズオンセッション(3): Geopaparazzi ハンズオン

オーガナイザー: 嘉山 陽一

申込先E-mail : yoichi.kayamaあつとgmail.com (あつとを@にして送信)

Android端末で動作するオープンソースGISアプリケーションGeopaparazziのハンズオンセッションを行います。参加者はAndroid端末のご準備をお願いします。